

インフルエンザについて

<インフルエンザの症状>

インフルエンザウイルスの感染を受けてから1~3日の潜伏期間後、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などが突然現れ、咳や鼻水などの症状がこれに続き、1週間程で軽快するのが典型的な経過で、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。

<インフルエンザの予防・治療について>

- 十分な睡眠・栄養・保温に心がけ、体調を整える。
- 人混みへの外出をできるだけ避け、帰宅時は手洗い・うがいをする。(タオルは自分専用)
- マスク、ティッシュを常備し、咳エチケットを心がける。(咳やくしゃみが出たら、他人にうつさないため、自分の感染予防のためにマスクを着用する。マスクのない場合はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れる。使ったティッシュは袋に入れて捨てる。)
- 室内の加湿に心がけ、鼻や粘膜の乾燥を防ぐ。(インフルエンザウイルスは寒さ・乾燥を好む)
- 部屋の窓を開け換気をする。(1時間に1回、3分間で室内の空気が入れ代わる。)
- インフルエンザの予防接種をする。(予防と重症化防止のために)

インフルエンザにかかったら、早めに医師の診察を受け、安静を保つことにより、肺炎などの合併症を防ぐように心がけましょう。また、周囲の感染を防ぐためにも、医師の許可が出るまでは、学校には登校しないでください。※ インフルエンザは出席停止となります。

- 登校時には、病院で出される証明書または下記の感染症出席停止証明書を病院で記入してもらい、必ず学校に提出してください。

感染症出席停止証明書

愛知県立半田工科高等学校長 殿

年 組 番 氏名

病名 (該当疾病に○印)

- (第1種) 1 第1種感染症 ()
- (第2種) 2 インフルエンザ (型) 3 百日咳 4 麻疹 5 流行性耳下腺炎
6 風しん 7 水痘 8 咽頭結膜熱 9 結核 10 髄膜炎菌性髄膜炎
- (第3種) 11 コレラ 12 細菌性赤痢 13 腸管出血性大腸菌感染症 14 腸チフス
15 パラチフス 16 流行性角結膜炎 17 急性出血性結膜炎
18 その他の感染症 ()

上記疾病のため 月 日から 月 日まで 出席停止を要する。

令和 年 月 日

医療機関名
及び医師名